

1. 「べからず集」(配布プリント p52-53)

口語的な表現ではなく、「理論的な文章」により適した表現を用いる

**問題：次の表現のなかで、理論的な文章としてふさわしくない表現はどれか考えなさい。**

- |              |         |             |
|--------------|---------|-------------|
| (1) a. けど    | b. しかし  | c. だが       |
| (2) a. ところが  | b. でも   | c. けど       |
| (3) a. という   | b. っていう | c. とかいう     |
| (4) a. したがって | b. だから  | c. なので      |
| (5) a. そして   | b. くわえて | c. さらに      |
| (6) a. やっぱり  | b. やはり  | c. 予測されるように |
| (7) a. ちょっと  | b. すこし  | c. 少々       |
| (8) a. なんか   | b. など   | c. とか       |

2. 字面の白さについて(配布プリント p55-60)

- 字面の白さ：文章中における漢字の占める割合が多すぎないように意識すること

なぜ意識する必要があるのか？

→ 漢字が多すぎる文章は、読み手に負担を与える

目安：文章中の漢字の割合が（ ）

原則：p56-58 を参照

- ✓ 代名詞はかな書きする（ただし、「私」「彼」「彼女」は漢字で書く）
- ✓ うち、ため、ことのような形式名詞はかな書きする。
- ✓ 接続詞（しかし、たとえば、また、したがって…など）はかな書きする。
- ✓ 助動詞・助詞はかな書きする。

## AÜ JPN305 Yazılı Anlatım I 8. ders

- ✓ 補助動詞(ikincil eylemler)はかな書きする。
- ✓ 接頭語・接尾語もかな書きする。
- ✓ 感動詞はかな書きする。
- ✓ 指示語（あの、この…）もかな書きする。
- ✓ 副詞は原則としてかな書きする。

問題：以下の文を読みやすく書き換えなさい。

- (1) 貴方の成績表が公開されましたので教務課に取りに来てください。
- (2) 又野先生が風邪の為、授業は休講となった。
- (3) 期末試験の成績は 100 点中 48 点であった。従って大学の規則により、この学生は単位を取得できないということになった。
- (4) その仮説が妥当であるかを検証するには、一度その論文通りに実験をして見る必要があるだろう。
- (5) 学生は、「先生に御願いが有るのですが」と言った。
- (6) 嗚呼、空から 6 億円が降ってきたらいいのに。
- (7) 或る調査によれば、此の数年で日本の GDP（国内総生産）は急激に下落したそうである。
- (8) 日本の人口は凡そ 1 億 3000 万人である。
- (9) 兎に角聴解の勉強は音声を実際に聴いて見なければどうにも成らない。
- (10) 授業の資料作成は粗終了している。

漢字と仮名の使い分けの意義(p60)

- 基本原則 1: .....
- 基本原則 2: .....

3. よくない文を直す(p. 61-66)

これまで授業で学習した内容を思い出しながら、各例文の解説を確認する。

設問：以下の文

4. 練習問題(p. 67-68)

設問 A, B に解答しなさい。(記入用に別途プリントを配布する)

---

配布プリントの出典 (kaynak) :

林治郎・岡田三津子 (編著) (2008) 『改訂版 言語表現技術ハンドブック』. 大阪：晃洋書房.